

第55回「ハートミーティング」意見交換の内容について 行財政局サービス事業推進室「違法駐車等防止対策事業 業務改善グループ」

★参加メンバーからの主な声

- 予算を掛けてハード面を整備することによって課題の解決を図るだけではなく、日々の活動のようなソフト面を充実させることが望まれると市長が話されたことが印象的でした。
- 何事をするにも、人の力が大事だというお話が印象に残りました。
- 市民目線という言葉は普段から意識していましたが、今回のミーティングを通じて、今まで以上に市民目線に立って仕事のやり方を工夫するなどしていきたいと思いました。
- 自転車利用マナーの向上を図るために、走行ルール等の周知や啓発活動を、工夫して粘り強く取り組むことの大切さを教えていただきました。
- 市長から、サービス事業推進室の業務に対する感謝や激励の言葉をいただき、さらに活動を充実させていきたいと思いました。
- 世界一の観光都市である京都において、サービス事業推進室は最前線で活躍し貢献していると仰っていただき、感動しました。
- 市民の安全、観光客に対する思いなどたくさんのお話を聞く事ができました。また、私たちの話もしっかり受け止めてくださり、感謝しています。

★市長からのコメント

- 自転車は京都の町に似合う乗り物であり、環境にも優しい。また観光にも便利である。そのため、自転車の走行環境を良くするとともに、マナーの啓発が大切である。
- 違法駐輪の防止対策に限らず、サービス事業推進室の皆さんは市民の皆さんと接する機会が多いので、市民や観光客の皆さんが何を求めているか、こういったことで喜ばれるかなど、あらゆることが分かると思う。皆さんが第一線で働く中で感じる課題や、ソフト面でどうすべきかということをどんどん発信してほしい。
- ハード面の整備が困難であるなど難しい状況下で、自転車の利用者数は急増している。このような中、第一線で活動してもらい、感謝している。
- 交通ルールは、啓発や善意だけでなく、罰則があるから守られているという面も残念ながらある。しかし、市では歯痒くとも粘り強く、人間力を発揮して啓発に取り組んでいてもらいたい。
- 2020年の東京オリンピックに向けて、世界一安心安全で優しさあふれるまち京都にしていきたいと考えている。専門家だけが取り組むのではなく、市民や職員が主体的に取り組むようなまちにしていきたいし、その潜在力はあると思っている。